

1 学校教育目標『あなたたちは世の光である あなたたちは地の塩である』

- 自分のまわりに喜びと光をまく人として、将来社会に貢献できる人材を育成する
 - A.主体性を育てる
 - B.自己を他者にひらいてかかわる力や態度を養う
 - C.神に心をひらく生き方を促す
 - D.調和のとれた人格の発達をめざす
- 建学の精神をふまえ、すべての生徒がその個性と能力を最大限に伸ばすことを願い、学力を基礎とした人間力のある生徒を育成する。(具体的には「学校要覧」、「私たちの教育の特色」を参照)

2 重点目標『萩光塩学院の教育の特色を理解し、各自のミッションに取り組む』

- 萩光塩学院の教育の理念を理解し、それを日々の学校教育において具体化し、充実・発展させていく。
- ◎社会や地域のニーズに対応した新しい取り組みを計画し、実現に向けてスピード感をもって取り組む。
- ◎各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努める。(具体的な取り組みを計画し実践する)
- ◎PDCA サイクルにのっとり、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努める。
- ◎生徒の進路実現に向けて現状の課題をみつけ、対策・強化に努める。(特進・高看・准看・就職対策)
- 小・中学校との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させる。

3 目指す教師像『自分のまわりに喜びと光をまく教師』

- (1) 使命感と教育愛をもって、生徒とかかわることができる教師
 - ・生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出し、のばすことができる教師
 - ・受容的姿勢を大切にすると共に、「是は是、非は非」とした指導ができる教師
 ☆自分の役割を自覚し、責任を持って職務を全うすることができる教師 (聞いていない、知らないは言わない)
- (2) 保護者や生徒、地域から信頼される教師
 - ・理想を掲げ、具体的な目標に向かって生徒と共に汗をながすことができる教師
 - ・家庭や地域との連携を図り、信頼関係を築くことができる教師 (公正・公平な態度で接する)
 ☆モラルの向上と綱紀の保持に努め、信頼される教師 (学校内での言葉使いや学校外での立ち振る舞い等)
 ☆生徒や保護者、地域からの問い合わせに対して迅速に対応することができる教師 (リズム感を大切に)
- (3) 自ら教師力の向上に努める教師
 ☆教科指導に積極的に取り組む教師
 ☆自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れない、実践力のある教師 (計画的な仕事の遂行)
 ☆生徒のために自らの個性や特技を積極的に発揮し、生徒や学校に貢献することができる教師
 ・組織の一員であることを忘れず、助け合うことができる教師

・平成29年度 生徒に身につけさせたい力

- 言葉の読解力・・・人がいっていることや文章を的確に理解してポイントをつかむ力
- 話す力、伝える力・・・自分の考えを的確にわかりやすく相手に伝えたり表現したりする力 (特に、プレゼンテーション力)
- 自分で考える力・・・勉強でも日常生活でも自分なりに考え、判断する力 (身につけた知識や技能を活用する力)

4 取り組みとそれに対する評価	
教 務	
目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒の基礎力と学力の向上を図る (2) 新コースの概要を決定する (3) 教員として必要な資質向上のための研修をおこなう (4) 教員の授業力向上を図る (5) 建学の精神の進化を図る (6) 業務を簡素化し、効率的に仕事を進められるようにする
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高校では、週2回の朝学で一般常識や数学、社会、理科の基礎知識の定着を図っている。国語では校内漢字テスト、英語では校内英単テストを年に4回実施している。成績優秀者には表彰を、点数が足りない生徒には、追試験をおこなうなど意欲的に学ぶ姿勢を育てている。 中学校・高校の特進コースは7時間目の授業や課外授業、土曜登校日などで学力向上を目指している。高校の普通コースの生徒には、基礎学力講座や大学進学講座、准看対策講座を実施し、生徒のニーズに合わせた授業をおこなっている。 学力支援が必要な生徒に対しては、個別に学習支援をおこない、知識の定着を図っている。 (2) 研修などを通して、新コースの概要を決定した。(コースの名称、授業内容、取得資格についてなど) 高2は来年度より新コースがスタートする。 (3) 毎月1回職員研修を実施した。(新コース決定に向けた話し合い、危機管理、いじめ対策、ICT教育など) 必要に応じて、各教科、分掌でも研修をおこない、情報を共有し、連携を図った。 (4) 各教科で研究授業を実施し、授業参観や事前事後の研究協議により、授業力向上に努めた。 新設されたプロジェクタやタブレット、電子黒板などを積極的に活用し授業している教科が多く、ICT教育の実現に向けて、教員の意識が向上している。 年に2回授業アンケートを実施し、現状や課題を把握し、よりよい授業づくりに活かすことができた。また、全授業アンケートを教務で集計し、職員で共有した。 (5) 朝礼で「朝の奉獻の祈り」と「光塩生徒の姿」を唱えることで、光塩の生徒が目指す生徒像を確認している。 学期に1回テーマをもとに「学院の精神」をホームルームの時間におこない、建学の精神について考えを深めた。 (6) 教務関係の書類や提出物をデータ化、簡素化することで教員の負担を減らし、効率的に仕事を進められるようにした。具体的には、生徒指導要録を電子化、教科成績表・ホームルーム日誌・進度表の簡素化などである。 毎週の時間割も各担当がそれぞれでおこなっていたことを教務がすべて担うことで、自習の回数の削減につながり、授業時数の確保につながっている。
反省	<ul style="list-style-type: none"> (1) 朝学は生徒にとって有意義な時間になっているようである。基礎知識や一般常識は少しずつ定着してきている。7時間目の課外をもっと有効に使う手だてを検討する必要がある。特進コースの力をさらに伸ばしていくための授業をおこなわなければならない。 (2) 来年度に向けての方針が決定したので、最終的な調整をし、スムーズに4月が迎えられるようにしていく必要がある。 (3) 必要な情報を皆で共有することができ、有意義な研修となっている。 (4) 研究授業に対して、教科によって意識が違うので、全教科がおこなうための取り組みを考えていかなければならない。

反省	<p>(5) 「学院の精神」の見直しが課題になっているが、実現できていない。早急に検討する必要がある。今年度は教員のカトリック研修が実施できなかったのが残念である。</p> <p>(6) 今まで記入や提出に時間のかかっていたものを簡素化したことで仕事の効率が上がった。</p>
来年度に向けて	<p>4月から始まる新コースを円滑に進めていけるように調整していく必要がある。</p> <p>今年度できなかった課題を早急に改善していく。</p> <p>さらなる効率化を目指して、簡素化できる業務を改善していく。</p>
進路指導	
目標	<p>今年度、各学年次のような目標を立てた。</p> <p>1年 学習の習慣を身につけ、基礎学力の確認・充実を図る</p> <p>2年 職業や学部・学科への知識を深め、自己の進路をより具体化する</p> <p>3年 進路目標達成のための学習計画を遂行し、就職や進学への本格的な取り組みを始め、進路実現を行う</p>
実施事項	<p>1, 2年生の特進コースの生徒（希望者）を対象に東京の大学（青山学院大学・上智大学・明治大学・慶応義塾大学）のオープンキャンパスに参加。</p> <p>12月に高校2年生が山口大学と専門学校YICグループへ学校訪問を行い、進路実現のための意識を高めた。</p> <p>昨年度と同様に朝学の中で一般常識を学ぶ時間を設けた。</p> <p>外部業者に年3回の校内進路ガイダンスを依頼し、開催した。</p> <p>3回目の校内進路ガイダンス（100分）で、国語科が中心となり、小論文指導を行った。</p> <p>数研出版やベネッセによる2020年度から始まる大学共通テストについての研修会に参加した。</p>
反省	<p>毎年、生徒や保護者の進路に対する考えや学校への要望も変わってきている。またできるだけ多くの進学情報を保護者へ提供してきたが、個別により細かく対応した進路指導を目指すべきだと思う。</p> <p>昨年度、「進学や就職面接の練習を、直前だけでなくもっと前から計画的に実施すべき」との反省をもとに、就職、進学ともに余裕を持って面接練習を実施することができた。生徒1人につき最低3回の練習をすることができ、十分な準備ができたのではないかなと思う。</p> <p>各大学、専門学校および企業の面接問題を確認し、問題の傾向をつかみ対策していく必要があると思う。</p>
来年度へ向けて	<p>東京方面へのオープンキャンパスは継続し、関西や九州の大学訪問も実施し、進路実現の意識をより高めていきたい。</p> <p>各大学・専門学校のアドミッションポリシーなどを把握し、生徒それぞれが目的をしっかりと持てるような進路指導をしていきたい。</p>
生活指導	
目標	<p>生徒指導の目的</p> <p>生徒一人ひとりの夢の実現に向けて、自分の言動に責任をもつことができる力（自己指導能力）を育成する。</p> <p>生活指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「規範意識を高める」「いじめを根絶する」 ・ルールやマナーを自ら守り、モラルの向上をめざす。 ・正しい服装をする。 ・遅刻をしない。 ・すすんであいさつをする。 ・場にあった正しい言葉づかいをする。 ・いじめを絶対に許さない。

実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・試験期間中の校外巡視。 ・列車巡視（長門・須佐方面） ・いじめアンケート・生活アンケートの実施 ・携帯・スマホ安心安全講習 ・交通安全教室（自転車の乗り方について） ・各学年による服装検査
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、各施設・店舗などから生徒の過ごし方についての苦情がなかった。 ・生徒の自転車運転のマナー（特に右側通行・並進）で外部から苦情があったが昨年度よりかなり件数は減った。 ・大きな服装の乱れはなかったが、靴下を下げたはいたり、シャツの第一ボタンを開けたままにしたりする生徒が若干いた。 ・挨拶については、外部からお褒めの言葉をいただくなどほとんどの生徒ができているようである。しかし、相手や場に応じた言葉遣いができていない生徒が多いように感じられた。 ・いじめアンケート・生活アンケートを実施した結果、友人同士のトラブルが数件あった。些細な思い違いや相手を思う気持ちが少し足りないことが原因であった。当人同士話しをさせたり、各担任が面談をしたりして生徒の話をよく聞くことで大きな問題に発展することはなかった。 ・LINE、Twitter等のSNSトラブルが数件あった。学校での指導は随時実施しているが各家庭での理解と協力が必要。
来年度へ向けて	<p>生徒一人ひとりの規範意識が高まるような指導をしていきたいと思う。また、自分の行動がその後どのようなことにつながるか予測し行動できる力を身につけさせたいと思う。ルールの意味や守る事の大切さを考え行動し、自分と他者を大切にできる生徒の育成に励みたいと考えている。今後も生徒の人格を尊重し、成長を促す開発的生徒指導、問題行動の未然防止に取り組む予防的生徒指導を全教員で行っていきたい。</p>
教育相談	
目標	一人ひとりの子どもの自己実現に向けて、教育上の諸問題や不応問題について、本人又は保護者、全ての教職員とともに解決に向けて取り組む。
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ○「個別の支援計画」を持った生徒への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校との引き継ぎ ・保護者との事前教育相談 ・継続的支援の実施 ○気になる生徒の早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 ・必要に応じて指導、支援の実施 ○ケース会議 <ul style="list-style-type: none"> ・問題が発生した場合、会議を実施 ・スクールカウンセラー、専門機関等との会議の実施 ○情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・前年度末に中学校との引き継ぎ ・専門機関との引き継ぎ ・保護者との教育相談 ・個別面談の実施 ・担任、教科担当、部活顧問からの気付き・意見の収集 ○情報共有、支援 <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員の共通理解 ・担任、教科担当への支援 ・本人への指導、支援、相談 ・保護者に対する相談窓口 ○専門機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域コーディネーターとの連携 ・医療機関との連携 ○スクールカウンセラーとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教員との面談 ・心理教育授業の実施 ○いじめ対策委員会への参加
反省	<p>昨年度より続いている校内整備において、生徒の移動時間や場所に対する負担から、きめ細かな相談体制をとることが困難であったが、ようやく新校舎への移動が整い、校内体制づくりをとることができるようになった。今年度もスクールカウンセラーとともに生活指導・教育相談体制づくりを図り、</p>

反省	定期的な相談活動や心理教育授業、ケース会議が実施されている。カウンセラーにより専門的な立場からの意見や情報をもらうことができ、生徒、保護者、教職員の問題解決に向けて大きな助けとなり指導にも活かすことができた。また、教職員とスクールカウンセラーの連携がとれてきたように思う。しかし、まだ教職員間での情報がうまく教育相談組織に伝達されていない場合があった。教職員は、生徒が抱えている問題や悩みをよく見つけ、連携を図り、学校が一体となって対応することができる校内体制を築いていることが必要であり、教職員の意識を高めることが大切である。
来年度へ向けて	生徒一人ひとりが抱えている問題も多様化してきている。早期解決に向けて、教職員間の情報を共有し、共通理解に基づいたすばやい対応を行っていききたい。そのためにも、校内の支援体制を明確にし、各組織と連携を図り、問題が大きくならないうちに対応することができる校内体制を築いていきたい。
募 集	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全員で募集活動に当たる ・萩市内の宣伝を強化する ・長門市での宣伝を強化する
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガイドなどの広報活動・広告、学校見学日やオープンスクール、萩ケーブルネットワークやはぎ時事への取材交渉などを全教員が分担し、責任者を中心に計画と活動を実施 ・中学校訪問は年5回全教員で行った ・小学校訪問は中学校主任を中心に年2回行った ・新聞折り込みチラシやTVCM（今年度は正月のみ）などメディアを利用した宣伝活動 ・部活動の活躍により今まで以上に横断幕を作成した ・Facebookの運用を開始
反省	教職員だけでなく保護者の方々と連携をとって宣伝活動ができた。本校の活動が新聞やテレビで取り上げられる事も多かった。ホームページをリニューアルしてさらに見やすくわかりやすくしたり Facebook の運用を開始したりした事でこれまで以上に多くの人に情報を発信できたと思う。
来年度へ向けて	第一に地元である萩・長門地区の生徒・保護者にこれまで以上に本校の魅力を発信し、生徒募集につなげていきたい。また、他地域の生徒・保護者にも本校の取り組みや特色を伝えるため各種メディアを活用していきたい。今後も保護者の方々にご協力をいただけると助かる。
校 友 会	
目標	生徒が自ら喜びをもって活動できる学校を作る 新たな企画を行うと同時に、今までの行事を充実させる 委員会、部活動と連携し、活動の幅を広げる
実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会の企画、運営 ・月目標の生徒全員への意識付けを図った。 ・代議委員会や中央委員会など、様々な会議の運営について討議し、会の充実を図った。 ・各委員会との連携を密にして、学校全体の校友会活動が活発になるよう努力した。 ・学期ごとに校友会新聞を発行し、各委員会の活動を報告した。 ・文化祭ではマドレーヌの販売や、舞台上でパフォーマンスを行うなど、文化部と協力して学校行事を盛り上げた。 ・学校見学日に校友会執行部でパフォーマンスを行うなど、学校行事に貢献した。 ・高校生県議会に参加し、県内の高校生と交流をもつとともに、自分たちの意見を堂々と発表した。

実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・萩ふるさとまつりにメルセダリアンインターアクトクラブとともに、萩光塩学院ブースを出店し、グッズの販売をおこなった。また、合わせて「九州北部豪雨災害」のための募金活動を実施した。 ・萩総合支援学校の「萩総まつり」にボランティアとして参加した。 ・朝のあいさつ運動を実施した。 ・今年度より、「校内草取りボランティア」を企画し、運営した。3回おこなったが、積極的な呼びかけで半分近くの生徒がボランティアで参加した。 ・昼休みに不定期で、自転車の施錠点検をおこない、生徒の施錠への意識を向上させた。 ・クリスマス祝の企画、運営 ・各クラスからの生徒の要望を、校友会でまとめ学校に提出した。 ・3年生を送る会を企画、運営 ・市内3校合同でボランティア活動（萩往還の清掃活動）に参加する予定だったが、登校日と重なり参加できなかった。 <p>中学校では、月に1回校友会新聞を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見箱を設置し、生徒の意見を取り入れるように努めた。 ・中学校の行事の企画・運営をおこない、行事を盛り上げた。
反省	<p>今年度は特にボランティア活動に力を入れて取り組んだ。昨年同様、学校外でのボランティア活動に積極的に参加するとともに、校内でも草取りボランティアを企画・運営するなど自主的に活動する様子が見られた。昨年より市内の高校3校での活動が増え、今年度も合同清掃活動に参加予定だったが、授業と重なったために参加できなかった。中学校でも、行事の企画運営などで、生徒が主体となって活動する様子が多く見られた。執行部が積極的に声をかけ、皆をまとめていた。</p>
来年度に向けて	<p>来年度は、3校合同でのボランティア活動に必ず参加したいと考えている。また、交流の機会を増やし、活動の幅を広げていきたい。合わせて東京光塩との交流も再開したいと考えている。</p> <p>今年度実施した行事や活動を継続し、新たな行事を企画していきたい。中学校も学校外での活動が増えるように声かけをしようと考えている。</p>
国際交流活動	
目標	<p>生徒の視野を広げるため、これまでも行ってきた活動をより幅広く、意識的に計画する。外国人の方が来校する日を「Cross Cultural Day」とし、生徒が異文化と触れる機会を積極的に設けていく。</p>
実施事項	<p>萩市からの依頼で、外国客船にのる外国人を歓迎するセレモニーで、本校生徒が司会や萩市の観光や歴史を紹介した（カレドニアンスカイ号、ロストラル号）。「Cross Cultural Day」として、10月にオーストラリアからの、また2月には台湾からの留学生の訪問を受けた。小学生、本校の中学生を対象としたインターナショナルワークショップも例年通り行った。体験を文章にして表現するものとして、中学校がJICA国際協力中学生エッセイコンテストに、高校2年生が国際交流体験感想文コンテストに取り組んだ。</p>
反省	<p>台湾からの留学生13名は中学校1年から高校2年の各クラスに入ってもらい、2日間の交流を行った（高校3年生は学年で交流）。今年度は幼稚園を含めた各家庭で、ホームステイを引き受けていただいた。短い時間ではあったが、生徒や留学生にとって貴重な体験となった。</p> <p>インターナショナルワークショップは、チェコ、スペイン、メキシコ、ロシア、韓国の5カ国から5人のスタッフと日本人スタッフに参加してもらい、4日間の活動を行った。今年度も市内小学生の多数の参加があった。</p> <p>JICA国際協力中学生エッセイコンテストでは今年度も学校賞を受賞した。</p>
来年度へ向けて	<p>これまでの活動を継続しながら、生徒にとってより充実したものとなるように計画していきたい。</p>

ボランティア活動	
目標（計画）	「奉仕の精神」を養う、また地域貢献の場としても重要な活動と位置づけ、生徒が積極的に取り組めるようにする。今年度から萩ロータリークラブの提唱を受けたメルセダリアンクラブ（メルセダリアンインターアクト）を中心に、より活発に活動できるようにしていく。
実施事項 （活動内容）	<p>昨年度に引き続いて、年間を通して、メルセダリアンクラブの生徒を中心に市内の小学生の勉強の手助けを行う学習支援ボランティアを行った。各学期末には、「子ども発達支援センターからふる」「養護老人ホームつばき」「特別養護老人ホームオアシスはぎ園」を訪問し、清掃活動などを行った。施設への訪問が難しく、「老人ホームへの手紙」の活動を選んだ生徒もいる。</p> <p>校友会の発案で、放課後に校内の草取りボランティアが行われ、多くの生徒が参加した。</p> <p>萩ふるさとまつりに萩光塩のブースを出展し、校友会・メルセダリアンクラブの生徒を中心に、展示や販売、募金活動を行った。</p> <p>その他に行った活動として、以下のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はぎキッズパークボランティア ・乙女峠ボランティア ・萩教会バザーボランティア ・「ダメ・ゼッタイ。」国際麻薬ヤングキャンペーンボランティア ・萩・ふうせんバレーボール大会ボランティア ・放課後等デイサービス「のびっこくらぶ」夏休みボランティア ・夏季東北被災地ボランティア（大槌町） ・夏季熊本被災地ボランティア（熊本YMC阿蘇キャンプ） ・24時間テレビボランティア ・ハロウィンたまち&結まつりボランティア ・萩総まつりボランティア ・クリスマスキャロリングボランティア ・萩ライオンズクラブ杯卓球バレーボール大会（至誠館大学と合同チームで参加） ・国際ソロプチミスト萩チャリティーバザーボランティア <p>宗教部で使用済み切手の収集、募金活動（More Than 200/300 Campaign、クリスマス献金等）、越冬支援、不要本の寄付（被害者支援）などを行ったほか、新たに書き損じハガキ収集等の取り組みも始めた。</p>
反省 （振り返り）	昨年度までの活動に加え、校友会が企画した校内清掃ボランティア、メルセダリアンクラブが募集した萩ふるさとまつりボランティア、宗教部が呼びかけた不要本の寄付（被害者支援）など、新たな取り組みも多く見られた。
来年度へ向けて	校友会、メルセダリアンクラブ、宗教部と、ボランティア活動に向けて活動できる部署が複数あるので、多くの活動のうちどの活動をどこが中心となって行うのかを明確にしながらも、協力して当たっていききたい。
業務改善	
目標（計画）	教職員の業務内容を見直すことにより、労働時間の短縮を図り、かつ教材研究など本来の業務に充てる時間を確保する。
実施事項 （活動内容）	<p>指導要録の電子化、進度表、ホームルーム日誌の簡素化、成績一覧表作成方法の改善</p> <p>運営委員会での事前協議による職員会議の時間短縮 平日は午後8時、長期休業中は午後5時までに退出</p> <p>バースデイ休暇制度を導入</p> <p>高体連の通達にもとづき、部活動の練習時間の見直し、休養日の確保</p> <p>部活動出欠票の廃止</p> <p>職員室にエアコン設置</p>
反省 （振り返り）	<p>文書の電子化や簡素化などについては、一定の効果があった。</p> <p>退出時間については、行事などの関係で時間通りにならない場合もあるが、昨年度と比べると時間を意識している教員は増えている。</p> <p>バースデイ休暇制度によって、教職員が有給休暇を使いやすくなった。</p>
来年度へ向けて	生徒募集など、保護者の協力を得る形のものも取り組んでいきたい。

5 保護者からの意見

高1オリエンテーション（萩セミナーハウス）（4月13, 14日）

1. 入学後間もない時期に新しい友達と話すきっかけができ、また先生方とも色々お話しができ、新しい環境・生活への不安が和らいだようです。
2. 入学したばかりで友達とのなじみもあまりなかったけど、とても楽しかったようです。
3. スマホを持って参加し、ルールを守らない生徒がいたようで、後味の悪さを感じた。

携帯電話パソコン安心講習会（4月19日）

1. SNSの使い方をもっときちんと教えた方が良いと思います。
2. 時間が経つと気をつけようという意識が低くなるので、できれば学期ごとに繰り返し行ってほしい。
3. 家でも時には使い方などを話し合う時間をもちたいです。

中学校宿泊訓練（4月27, 28日）

1. 「たくさん歩いてつかれた」と本人は行っていました、普段そんなに歩く機会が無いので良かったと思います。自炊も良い経験になったようです。
2. 学年を超えて交流ができた。時期も良かった。
3. 中学生の保護者から「内容が充実しておりとても良かった」と聞きました。来年も続けてほしいと思います。
4. 初めての参加でしたが、たくさんの方が先生方で準備しており、楽しい企画が多かったようです。

体力テスト・交通安全教室（5月2日）

1. 自転車の事故が増えているので、高校生になっても必要だと思う。
2. 子どもにとっていい勉強になったようです。

進路ガイダンス（5月19日）高校生

1. 進路に向き合うよい機会になりました。
2. 自分が希望している学校が来ていたので良かったようだ。話を聞いて自分の進路に対する気持ちの再確認が出来るよい機会になった。

萩光塩会総会（5月31日）

1. 総会資料に年間の行事予定表を入れてほしかったです。
2. 総会の資料に、学年目標や学校評価、保護者からの意見など細かく載せてあり、これを見ただけでも学校の様子がよく分かるので、とても良いと思う。
3. もっとたくさん保護者に参加していただきたいです。
4. 先生方の紹介があったのが良かったです。なかなか顔と名前が一致しないので...

スポーツ大会懇親会（6月10日）

1. 幼・中・高の保護者と交流できたので良かったです。
2. 初めてスポーツ大会懇親会に参加しました。光塩ファミリーと言われる団結力を感じました。
3. 初めてお会いした保護者の方とも、和気あいあい楽しい時間を過ごせました。その後の懇親会でも、同じチームになった方とより楽しくお話しできました。
4. 賞品がユニークで良かったと思います。懇親会には役員以外の方もたくさん出席してもらえ工夫を考えると良いかもしれません。

文化祭（6月21日）

1. これまでになくとも楽しくて良い内容だったと聞きました。土日に開催されるともっと見に来られる方がおられると思うので、検討していただきたいと思います。
2. 全校で盛り上がることができ、模擬店も盛況で良かったです。
3. 中3の書道パフォーマンスが一致団結していて、まとまりのあるクラスだと思いました。楽しそうで良かったです。これからも継続して下さい。

4. 生徒たちのエネルギーを感じました。もう少し保護者の方の参加があるといいですね。
5. ステージ発表で、各クラスまたは各学年での全員参加の発表は無いのでしょうか。

中学校修学旅行（サイパン 7月19日～7月25日）

1. 言葉も通じない海外で、親から離れ不安もあった様子でしたが、帰ってきてからの成長を感じると本当によい経験になったんだなと思いました。これから先も、サイパン旅行は続けて行ってほしいです。
2. 初めての海外でしたが、いい体験だったと思います。「まち comi」で様子がよくわかるので安心できます。

萩夏祭りヨイショコショパレード（8月2日）

1. パレードに参加したことも楽しそうでしたが、パレードの後のお祭りもよい思い出になった様子です。
2. 光塩ファミリーとして長蛇のパレードを作りたいですね。毎年、保護者の参加が増えるといいですね。
3. 年に1度、浴衣を着てクラスメイトたちとお祭りに行けるという特別感がすごくよいと思いました。
4. 先生や保護者などの大人は、ちゃんと踊っていましたが、毎年、中学、高校の生徒（特に男子）は私語をしながら歩いているようで、踊っていません。みていてあまり印象がよくありません。きちんと踊らせるか、または踊る人しか参加させないか、考えた方がよいと思います。

学校清掃作業（8月6日）

1. たくさんの保護者の方の参加があって、協力性を感じました。
2. 萩光塩会の新しい取り組みが始まりました。草刈り機、軽トラなど保護者の理解と参加は、子供たちに伝わると思います。
3. 暑い中でしたが、先生方・生徒・保護者が一緒になって汗を流した清掃作業で、学校内がきれいになって気持ちよかったです。時間も長すぎずよかったです。
4. 今後もこの活動に参加したいと思うので、2回、3回、…と続けていったらよいと思います。年2回でもよいです。
5. 主人が参加しましたが、校舎裏に泥蜂の巣があって危ないとのことだったので、対策していただければと思います。

体育祭（9月4日）

1. 騎馬戦は、迫力があって見応えがありました。
2. 本当に一生懸命の子供たちに感謝です。男女とも仲がよく、協力できていたと思います。先生、学校等関係者の支援に保護者として感謝します。
3. 先生方・中学生・高校生が皆一致団結していて、生徒たちも楽しそうでしたが、観覧している方も一つ一つの競技をとっても楽しく応援させていただくことができました。また、保護者参加の競技も参加しやすかったと思いました。
4. 中学校の親子競技の参加者が少ないので、事前アンケートでの聞き取り方を変えてみてはどうかと思います。1家庭1人は参加型にした方がよい。
5. 体育館のトイレも使用させてほしい。

インターアクトクラブ設立総会・認証状伝達式（9月13日）

1. 萩ロータリーの後援のもと、ボランティア精神が発展することを期待します。

開校記念日・竣工式（11月1日）

1. ミサより参加させていただき、とても有意義な1日でした。記念コンサートもとても楽しかった。
2. 開校記念ミサ、竣工式ともに出席させていただいた。ミサでの神父様の「パーパレード」のお話は、ホッと温かい気持ちになった。少し緊張気味で出席したが、穏やかで清々しい気持ちになることができた。ありがとうございました。
3. 萩光塩学院にせっかくご縁ができたので神聖なる式典を一度拝見したいと思い参加した。

中国地方を代表される司教様の式典に出席でき感動した。また生徒が先生の指揮のもと、一糸乱れぬ動きや美しい讃美歌を歌う様子には鳥肌もたった。子ども不足の時代だが、他校にはないこの素晴らしい特色を生かし、多くの生徒に入学して欲しいと思った。

4. 竣工式にはたくさんの方々が出席されて、これもいろいろな方の協力があったとのことだと思った。子供たちが新しい校舎で気持ちよく過ごせることに感謝する。
5. 新しい環境の中で、Wi-Fi など時代に合った教育に期待できる。
6. 学校が建てかわり寂しさもあったが、新校舎を見学して螺旋階段になっていたことが、昔の校舎を思い出させ、懐かしさを感じた。校内も明るくてとてもよい印象を持った。
7. お母さん方は光塩卒業の方も多と思うが、今までお父さん方は娘が入学しない限り学校を知ることができなかったと思う。お父さん方、一度でいいので開校記念式典に出席してみてください。光塩の素晴らしさを理解する早道かもしれません。私はそう感じた。

萩・阿武中学校音楽会（11月9日）

1. 当日音楽会に行くことができなかったが、オープンスクールで歌声を聞くことができたのでよかった。男子も女子も大きな声で歌うのでいつも感心する。
2. 毎日の朝練は大変だったと思うが、とてもきれいな声だった。

バザー（11月23日）

1. 昨年より人が多いように感じた。よかったと思う。
2. 保護者（中学校）の方々のチームワークもよく、とてもよいバザーだったと思う。子供たちもお手伝いをすることで、お客さんと接するなどよい社会経験になったと思う。
3. 中学校の方は昼過ぎに完売したので、売る方としてはよかったが14時30分までバザーがあるので、できるだけ時間まで作って売ることができるよう、数の方を検討してもいいのではないかと思う。
4. のみの市は、皆さんが協力をして準備から当日まで楽しくできた。お客様も喜んで帰ってくれたと思う。
5. いろいろな学年の保護者の方々と交流できてよい機会になった。
6. お客さんの顔は皆ウキウキされていたので「おはようございます」「良いもの変えるといいですね」等声かけをするようにした。お帰りの時、両手いっぱい荷物を持たれた人が喜んで見ているのを見て「来年も来てくださいね」と言うのと「また来るわ」と言われとても気持ちのよい一日だった。
7. バザーのパンフレットの教室説明が抜けていてわかりにくいところがあった。
8. 役員以外の保護者のお手伝いをもっとあればよいと思った。
9. 食堂のコーナーにもう少しテーブル、イスがあるとよかったと思う。
10. バザーでの花の苗の担当の方からのお願いの伝言がありました。花の苗の場所が駐車場から離れていて、買い物をされても「運ぶのが大変」といわれるのでできれば駐車場に近い場所にしてほしい。学校の駐車場と東中の駐車場との連携がとれていない。各駐車場の係員同士の連携もとりづらい（広すぎて）。
11. 東中の駐車場は広いので、ピーク時最低4人は必要。また駐車場の出入り口近くにテニスの支柱があり、運転者はそれに気づきにくい様でいつか接触しそう。対策を。
12. 東中の駐車場にも中央車線や進行方向を示す矢印が欲しい。

キャロルコンクール・クリスマス祝い

1. 毎年楽しかったと話してくれます。コンクールでクラスが一丸となって練習しその度にクラスの雰囲気も良くなっているように思います。
2. 人数が多いクラスと少ないクラスで対照的だったのが声の大きさと、少ないからといって声もしっかりしていて良かったと思います。生徒の皆さん発音もよく、良かったです。
3. 練習することに対してクラスにかなりの温度差があったようです。

修学旅行（沖縄、グアム）

1. 沖縄ならではの体験ができてとてもいい経験になりました。
2. グアムでは中学校のときのサイパンの修学旅行とはまた違った海外を楽しんだようです。自由なところもあるので、友達といい思い出ができたようです。出発は寒いところから行くので服に困りました。

冬休み

1. 宿題が多かった。
2. 面接の練習で学校に通っていたので、規則正しい生活ができたと思います。

カルタ会

1. 上の句・下の句を覚えるのに苦労していたようです。
2. 自宅でいとこたちと百人一首を覚えたりして遊んでいました。良い結果が出た様子でよかったです。
3. 子供が3位に入賞したと喜んでいました。目標が「脱4位」だったのでよかったです。

萩市駅伝大会

1. 幼稚園と中高の先生や保護者の交流になるので、とてもよい機会だと思います。今後もっと続くと良いです。
2. 今回3チームの参加で、初の女子チームを作り参加させてもらいました。不安はかなりあり、途中何度もくじけそうになる心を、“光塩がんばれー”の声にかなり助けられました。応援ありがとうございました。
3. 幼・中・高・卒の保護者の方の協力により光塩ファミリーとして参加できたことはいいことだと思います。応援やお手伝いの方もたくさん協力していただき、感心しました。
4. 選手、スタッフと応援してくださった皆様、お疲れ様でした。今年は入賞することもできとても楽しい一日でした。駅伝はやっぱり楽しいと感じました。来年はぜひ生徒チームを組んで参加してもらえると助かります。また、幟を作成してもらえると助かります。運動会や大会などにも使えるので、ぜひお願いします。

生徒の校内・校外での様子

1. 学校に行った際、テニス部と陸上部の生徒が気持ちの良い挨拶をしてくれました。特に、走りながら挨拶をする（陸上部）姿に感心しました。
2. バザーのポスターを作ってもらったが、もう少し丁寧に書いてもいいのでは…。きちんと書いてくれている人もいるが、イラストが適当な感じがした。
3. 学校に行ったときにたくさんの生徒が笑顔で挨拶してくれるのでとても気持ちがよい。
4. ちゃんと校則を守っていると思う。
5. タイツ、マフラーなどの使用許可はバザー開けというルールなのか？ 今年のように冷え込んだ日が来たら少し前倒しで OK にしてほしい。ポケットに手を入れたり、セータを伸ばしたりして自転車をこいでいる生徒をたくさん見かける。見た目も悪いし、風邪でもひくと大変。
6. あいさつをする生徒と全くしない生徒がいるので、各自があいさつの徹底を心がけて欲しい。
7. インドネシアの方との交流が今年はなく残念でした。
8. 平日に学校に行くと、授業をしているクラスとそうでないクラスがあるようで、廊下がうるさいので、教室まで聞こえてこないような配慮がいていると思います。集中できる環境を作ってください。

その他、何でもご記入ください。

1. のみの市で余った物は全て廃棄したが、越冬支援に必要な者は残してもよかった。
2. 中学校の校舎は外部の方の出入りが自由なように見えるが、防犯上大丈夫か。
3. できることなら、高校生全員が新校舎で過ごせることを望みます。
4. 高校と中学に子供がいる。同じ配布物の場合、一方にだけ配るなどして欲しい。行事への参加・不参加など親は一緒なのでどちらかでよいのではと思う。ご検討願います。
5. 女子高時代、学校の中に入ることもなく、「どういうことをしているのか?」「カトリックとは?」と世の男子は知るすべもない光塩学院でしたが、男女共学となり、男子生徒は選択の幅が広がり、有難いことだと思う。

6 教員の自己評価				
教育目標をもとに 34 の項目を立て、教員一人ひとりが自己評価を行った。それぞれの項目について評価は1～5の5段階で行い、その平均を示した。昨年度のものと同項目が変わったところもあるが、多くの項目で点が上がっており、教員一人ひとりの意識が向上しているものと思われる。				
1. 平成28年度 重点目標等について			平均	
			1 学期	3 学期
1	重点目標	萩光塩学院創立時の教育の理念を理解するように努めた。	4.0	4.0
2		萩光塩学院創立時の教育の理念を具体化し、充実・発展させるよう努めた。	3.6	3.8
3		新しい取り組みを計画し、実現に向けてスピード感をもって取り組んだ。	3.2	3.1
4		各教科で研究を行い、基礎学力の定着と応用力の発展に努めた。	3.2	3.2
5	重点事項	PDCA サイクルにのっとり、分掌間の情報を共有し、OJT の推進に努めた。	3.4	3.3
6		生徒の進路実現に向けて現状の課題をみつけ、対策・強化に努めた。(特進・高看・就職対策)	3.5	3.3
7		小・中学校との交流を深化し、地域が本校に求める情報等を入手し、学校運営等に反映させた。	3.0	3.1
8	めざす教師像	生徒一人ひとりの良さや可能性を引き出し、のばすことができた。	3.6	3.7
9		受容的姿勢を大切にしながら、「是は是、非は非」とした指導ができた。	4.1	4.1
10		自分の役割を自覚し、責任を持って職務を全うすることができた。	3.8	3.8
11		具体的な目標に向かって、生徒とともに汗を流した。	3.6	4.0
12		家庭や地域との連携を図り、信頼関係を築くことができた。	3.5	3.9
13		モラルの向上と綱紀の保持に努めた。(学校内の言葉使い・学校外での立ち振る舞い等)	3.8	3.8
14		生徒や保護者、地域からの要望や問い合わせに対して迅速に対応することができた。	3.9	3.7
15		教科指導に積極的に取り組んだ。	3.7	3.6
16		自ら考え、工夫し、チャレンジ精神を忘れず実践した。	3.8	3.8
17		自分の個性や特技を積極的に発揮した。	3.7	3.7
18		組織の一員であることを自覚し、助け合うことができた。	3.8	3.7
19		生徒の将来のために、今何ができるかを考えながら指導した。	4.0	4.0
20	会議や打ち合わせの際は、計画的・効率的に取り組んだ。(資料の準備や計画的な仕事の遂行)	3.8	3.5	

2. 萩光塩学院の教育の特色について			平均	
			1 学期	3 学期
1	主体性を 育てる	生徒を神から委ねられたものとして受けとめ、ありのままの彼らを、一人の人間として愛し、許し、受け入れ、尊敬の心をもって接した。	4.0	4.1
2		教育活動のねらいが、生徒自身を成長させることであり、教職員はそれを助ける存在であることを理解して取り組んだ。	4.2	4.1
3	自己を他者にひらいて かかわる力や態度を養う	互いにひらかれた心を持ち、相互の多様性を尊重しつつ協力した。	3.6	3.8
4		生徒・保護者・卒業生及び社会の声に謙虚に耳を傾け、そこから学ぶ姿勢を大切にした。	3.9	3.9
5		自分の視野を広げ、生徒とともに世界の人権尊重や平和の実現に対する意識を育て、貢献できるよう努力した。	3.4	3.4
6	神に心をひらく 生き方を促す	神が、生徒一人ひとりと私たちを導いてくださる、真の教育者であることを理解するよう努めた。	3.5	3.6
7		萩光塩学院で、祈る心を持ち、謙虚さ、善良さ、誠実さ、平和、人間味あふれる温かい交流などの、精神的深まりを大切にするものであるよう努めた。	3.8	4.0
8	調和のとれた人格の 発達をめざす	生徒一人ひとりの必要に合わせ、調和のとれた人格の育成のため、個別的で、愛情深いかわりや指導を実践した。	3.9	4.0
9		教育の充実に不可欠な、教職員間の対話や協力を進めた。	3.6	3.6
10		私たち自身が、人間というものをより広くより深く捉えることができる目を常に養い、自分自身の人間形成の努力を続けた。	3.3	3.4
11	その他	萩光塩学院が、各自の信条・思想を尊重しながら、キリストの精神に生かされた共同体となるように努力した。	3.3	3.7
12		教職員研修などの場でカトリック教育の在り方を学び、建学の精神を発展させた。	3.3	3.5
13		萩光塩学院をより豊かなものにするため、各自の任務の中で、自分の専門分野に精通し、たえず刷新し、熟練するよう努めた。	3.8	3.7
14		卒業生・保護者及びかつて学校にかかわった人々との交流の機会を設け、私たちの伝統である温かい家族的な精神を保ち、育てた。	3.7	3.7

7 学校関係者評価	
募集	卓球部の全国大会出場や書道部の活躍などによってニュースで取り上げられることも増えた。また、市や地域の行事など色々なものに参加していることは公立にはまねできないことで、光塩の知名度やイメージも上がってきている。校舎が新しくなり ICT などの設備も充実したため、それらを見て光塩に行きたいと思う生徒も増えたのではないかと。
教務	大学ではグループでの話し合いなどを通じてプレゼンテーション能力を高める授業をしている。このように将来を見て生徒に必要な能力を付けさせる努力をしてほしいし、意識すればかわっていくと思う。
生活指導	生徒は落ち着いているようだが、不登校などの教育相談がますます重要になってくる。心の問題はその生徒の将来まで響く大きな問題なので、大変ではあるがしっかり対応してもらいたい。 生徒はよく挨拶をし服装もきれいで感じが良いが、ややおとなしい印象がある。活発さもほしいと感じる。 物騒な世の中なので、護身術についても指導をしてほしい。
ボランティア活動	萩市やソロプチミストの行事など公立ができないことを積極的にやっていることが評価できる。小さい学校だが外部のいろいろな人にあうことで、人に物事を伝える力も付くと思う。
業務改善	銀行などでも、以前は10時過ぎまで帰れなかったが、今は7時には帰らせるようにしている。光塩でも退出時間を決めたことや有給休暇を使うようになったことは良いことで、教職員にもっと浸透するようになってほしい。
その他	公立の先生と違って転勤がないので、自分の学校をよりよくしようという気持ちが強いように感じられる。また、ICT 機器などを積極的に利用しようとしている姿勢も良いと思う。保護者の協力が増えていることも良いことである。